



● ● 夏の一大イベント 清水みなと祭りに陸・海・空自が参加 ● ●

静岡地本は8月1日（金）から3日（日）まで、清水港日の出埠頭（静岡市）で広報活動を行った。これは清水みなと祭りの一環で、1日は海自の護衛艦「ひゅうが」が入港した。艦長が地元の東海大学出身という縁から、同大学の学生や教職員が艦長案内のもと艦内を見学し、海自の艦艇や自衛官の仕事に理解を深めた。

2日は、「ひゅうが」の一般・特別公開、陸自機甲教導連隊の16式機動戦闘車4台同時展示、静岡地本・空自静浜基地・東海大学による広報ブースを行った。3日は、「ひゅうが」の公開や広報ブースのほか、陸自特科教導隊の12式地对艦誘導弾、第34普通科連隊の高機動車等の展示、空自第11飛行教育団のT-7初等練習機、第1航空団のT-4中等練習機、飛行開発実験団のF-2戦闘機による飛行展示を行った。

陸・海・空自衛隊が一堂に会するイベントに多くの市民や観光客が集まり、特に「ひゅうが」の一般公開には朝早くから長蛇の列ができた。艦内では、ヘリコプター用の巨大なエレベーターに乗って飛行甲板へ上がることができ、見学者は艦のスケールの大きさに感嘆の声を上げていた。



● ● 海自艦艇7隻が清水港へ 防災訓練や艦艇公開を実施 ● ●

静岡地本は9月26日（金）から28日（日）まで、清水港日の出埠頭（静岡市）で行われた海自横須賀警備隊の防災訓練と艦艇広報に協力した。

これは、同港での防災訓練を通じて自治体との調整要領などを確認するとともに、艦艇公開や体験航海を行い、海自の活動や災害派遣活動への理解促進を図るもの。県内初入港となる多用途支援艦「すおう」をはじめ、同型艦の「えんしゅう」（28日のみ）、特務艇「はしだて」、輸送艇2号、水中処分母船3号、えい船、水船の7隻が清水に集合するという、過去にも例のないイベントとなった。

26日は、地震により給水管が破裂し断水が発生したとの想定で、水船から静岡市上下水道局の給水車への給水訓練を行った。船と給水車をホースで繋ぎ、自衛官と市職員が手順や異常の有無などを確認した。

27、28日は岸壁を一般開放し、すおう、はしだて、水中処分母船3号の船内見学、静岡地本の広報ブースのほか、えい船、処分艇（ゴムポート）による湾内体験航海、被災者への給食を想定したレスキューキッチンでの食事体験を行った。

えい船による体験航海は、被災者を孤立地域から避難地域へ移送する人員移送訓練を兼ねており、参加者はビブスと救命胴衣を着用して約10分間の湾内航海を体験した。下船後は、岸壁で自衛隊が用意したカレーライスとレトルトスティックライスの試食（レスキューキッチン）を行い、参加者は笑顔で頬張っていた。



海自の水中処分母船が沼津で一般公開

静岡地本は8月23日(土)と24日(日)、沼津港(沼津市)で海自の水中処分母船3号の一般公開を行った。

同港に海自の艦艇が入港するのは、2023年10月の掃海艦「ひらど」以来、約2年ぶり。両日とも朝から市民や観光客が見学のための列をつくり、2日間で1360人が訪れた。

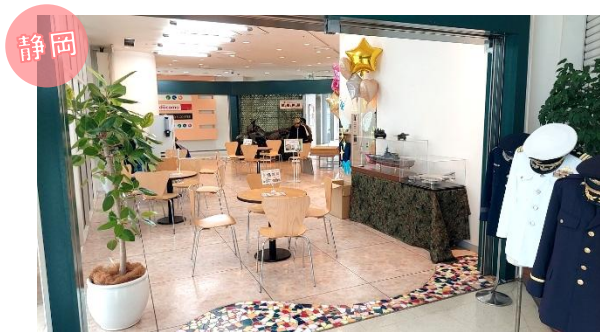
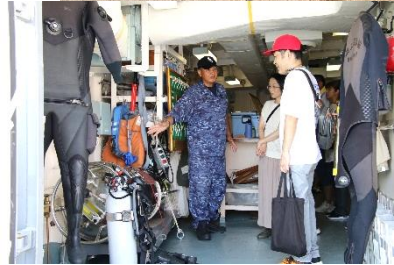
同船は、水中の爆発物処理などを行う水中処分員の支援を任務としており、潜水用器材や揚収用クレーンなどを装備している。見学者は艦橋や甲板を回り、船が航行するための装置や水中処分員の装備などを見学した。

船内では各所で乗員が説明を行ったり、らっば吹奏の展示をしたりして自衛隊の任務などを紹介し、見学者は「この船には何人くらい乗っているんですか」「船の生活で一番楽しいことはなんですか」などと興味深く質問していた。

一方、岸壁では静岡地本が広報ブースを設置し、迷彩服試着体験やアンケート、自衛官採用制度説明などを行った。夏休み期間中ということもあり、多くの家族連れが楽しみながら自衛隊に親しんだ。



沼津



静岡所カフェ風サテライトブースを開設

静岡地本は7月1日(火)から31日(木)まで、ペガサート1階(静岡市)に静岡募集案内所のサテライトブースを開設した。

これは「陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン」の一環として行ったもの。近くに複数の学校があり、駅や商業施設に隣接している立地を生かして、若者や保護者が入りやすいカフェラス風を目指した。

ブースには、偵察用オートバイ、試着用制服や迷彩服、自衛隊紹介動画、触れる南極の氷、自衛隊の職種や働く自衛官の声を紹介するパネルなどを展示。明るい雰囲気のカフェテーブルや観葉植物を設置したほか、城南静岡高校地域貢献部と協力してフォトスポットの作製や室内の装飾を行った。また、「ゆっくりくつろぎながら自衛隊を知ってほしい」との思いから、フリーWi-Fiや無料の飲み物、アイスも用意。初日は近隣の学校に通う中高生や親子連れなどが訪れた。

静岡所の自衛官や自衛官募集相談員等の協力者が来場者を出迎え、展示品の説明や案内などを行った。来場者の中には「学校で防災講話してくれた人だ」と自衛官の顔を覚えている生徒もおり、南極の氷に触れたり迷彩服を試着したりして、友達と楽しみながら自衛隊への理解を深めていた。



掛川東高校で防衛大教授が模擬講義

袋井所は7月17日(木)、県立掛川東高校(掛川市)で開催された大学進学講座に協力した。

これは、進学を考えている1、2年生が、大学等から招いた教授の講義を体験して今後の進路決定の参考とするために行われているもの。今回は、防衛大学の加藤直樹教授が「日本を取り巻く安全保障環境、君に考えてほしい君自身の明日」というテーマで講義を行い、国防に興味のある生徒約40人が聴講した。

加藤教授は、日々ニュースで取り上げられている国際情勢や日本の安全保障、防衛政策について、それぞれが密接に関わり合っていることをわかりやすく説明し、「今日講義で話したことは、みんなが考えていかなければいけないこと」と伝えた。

生徒たちは、普段触れることのない話題に興味深く聞き入り、講義終了後には「面白かった」「自分の中の世界情勢がアップデートされた」「世界情勢や防衛は、自分たち自身が考える問題なんだと認識した」と感想を話していた。

また、加藤教授も「普段と違い、防衛について初めて講義を受ける高校生にどうすれば伝わるか考え、新鮮な気持ちで臨むことができて、勉強になった。また機会があればぜひ協力したい」と継続的な活動への意欲を見せた。



袋井



昨年度の予備自衛官招集訓練時に「来年度の中央訓練に参加してみないか」と地本の方からお話を頂き、会社との調整を済ませ訓練までの間とても楽しみにしていました。会社からは今回の訓練に参加するにあたり「国のために頑張ってきて」と激励されました。私の職場はアルミニウムを精錬する会社で、その金属を愛知県中心に兵庫県や富山県に輸送し日本の物づくりを支える仕事に従事しています。自衛隊で取得した大型免許や作業免許が今はとても役に立っています。

中央訓練の内容は全国から集まった予備自衛官（一般・技能）の方たちと寝食を共にし、練度の向上と知識を共有する場で、普段の招集訓練とは違いました。また、朝霞駐屯地は現役時代に数度しか行かず今回広い敷地で訓練が出来て感慨でした。

今回の訓練では、まず、輸送ヘリコプター（CH-47）を使用する際の陣地進入、次に、警備訓練の歩哨では実際に空砲を使用するなど実戦さながらの訓練の連続でも緊張しました。訓練の状況設定も実際起こりうる場面があり、例えば外国人の不審者には特技保有技能予備自衛官の能力を生かして対応し、武力攻撃してくるテロリストに対しては空砲射撃で威嚇反撃するなど非常に自身の為になる訓練でした。

翌日の総合火力演習見学では、私が現役自衛官で所属していた時とはまるで違う新しい装備や戦術を学び時代の流れを痛感しました。また、なにより間近での見学で火力の迫力に圧倒されました。

その後、永年勤続表彰式が防衛省の隣のホテルで行われ、式中で陸上幕僚長訓示があり全国の予備自衛官に対して2つの要望を頂きました。一つ目は「予備自衛官としての責任と誇りを持って」です。有事の際は予備自衛官も招集されます。いつ何時招集されても良い意識を常に持ち責任感を持って任務にあたる、その事に誇りを持ってほしい。2つ目は「国民と自衛隊との架け橋になってほしい」です。全国の予備自衛官は普段は各々多様な仕事に就いています。会社なり家族なり友人なり多くの方に自衛隊を理解してもらえようにしてほしいと話がありました。私もこの2つの要望を胸に刻み今後の訓練に励んでいく所存です。

最後に、本訓練では自己の練成不足や意識の低さを痛感しました。今後の訓練目標は中央訓練で培った高い意識を持ち続け、今回学び取った事を周りの予備自衛官（仲間）に広めていきたいです。本訓練を計画実施して頂いた多くの方々には感謝申し上げます。



本部活動報告

女性対象の練馬駐屯地バスツアーを開催

静岡地本は8月22日（金）、陸自練馬駐屯地（東京都練馬区）で女性限定部隊見学バスツアーを行った。

これは、自衛官の仕事に興味のある中学生から32歳の女性を対象に、施設見学や女性自衛官との懇談を通して自衛隊に対する理解を深めてもらうと行ったもの。保護者7人を含む27人が参加した。

駐屯地では、まず隊員食堂で昼食のカレーを体験喫食し、その後、車両整備工場、部品倉庫、隊員居室の個室モデルルームの見学、防衛医科大学校出身隊員による衛生隊紹介、女性隊員との懇談を行った。

車両整備工場では、トラックや高機動車などを整備する女性隊員の姿を見学し、男女の区別なく幅広い仕事に就くことができることを確認した。また、衛生隊の紹介では「自衛隊の中でも女性の割合が高く、資格を生かして活躍できる場が多い」といった話を聞き、参加者の一人は「かっこいい。話が聞いて良かった」と興味を示していた。

女性隊員との懇談は4グループに分かれて行い、補給隊や衛生隊などで勤務する隊員が自らの経験などを伝えた。それぞれ全く違う環境で働く女性自衛官の話に参加者は真剣に耳を傾け、「衛生隊員は高卒でもなれますか」「どうして（就職先に）自衛隊を選んだんですか」と積極的に質問をしていた。



本部

前期定期表彰



第4級賞詞（職務遂行）

三島所 陸曹長 谷川 允未
 藤枝所 1等陸曹 杉澤 裕司
 静岡所 1等陸曹 黒木 清和
 沼津所 2等空曹 河内 稔
 三島所 3等海曹 平良 隆晃

第5級賞詞（職務遂行）

伊東所 准陸尉 岩崎 賢
 藤枝所 陸曹長 早田 高士
 募集課 陸曹長 小出 和司
 浜北所 陸曹長 山田 明
 藤枝所 2等空曹 澤田 俊良

第4級賞詞（車両無事故）

浜松所 陸曹長 砂子 康則
 センター 1等陸曹 望月 奨

第5級賞詞（車両無事故）

藤枝所 2等海曹 岩崎 智

転出

- ▽ 滝ヶ原・教育支援施設隊
陸曹長 谷川 允未（三島所）
- ▽ 北千歳・第1地对艦ミサイル連隊
1等陸曹 杉澤 裕司（藤枝所）

8月1日付

部内異動

- ▽ 総務課 **陸曹長 中島 友治**
 （募集課）
- ▽ 沼津所 **陸曹長 小出 和司**
 （募集課）
- ▽ 三島所 **1等陸曹 渡邊 淳**
 （沼津所）
- ▽ 藤枝所 **2等陸曹 豊泉 正志**
 （総務課）
- ▽ 沼津所 **3等陸曹 渡邊 隆太**
 （総務課）

8月1日付

転入

- ▽ 募集課 **陸曹長 荻田 修弘**
 （板妻・第34普通科連隊）
- ▽ 募集課 **1等陸曹 伊藤 竜二**
 （滝ヶ原・教育支援施設隊）
- ▽ 援護課 **2等陸曹 岩崎 勇太**
 （信太山・第37普通科連隊）
- ▽ 総務課 **3等陸曹 鈴木 洸平**
 （練馬・第1後方支援連隊）
- ▽ 募集課 **3等海曹 池ヶ谷 健斗**
 （横須賀・護衛艦きりしま）
- ▽ 富士所 **3等海曹 白川 哲也**
 （仙台・宮城地方協力本部）

8月1日付

8月4日付

10月1日付

定年退官



募集課 2等陸尉

伊藤 通孝

（8月23日付）

静岡地本 10、11、12月 主要行事予定

10月

- 7日…自衛官候補生試験（WEB）
- 10～14日…予備自衛官5日間訓練（滝ヶ原）
- 11日…予備自衛官1日間訓練（本部）
 予備自衛官地本行事（滝ヶ原）
- 12日…一般曹候補生2次試験（口述）
 自衛官候補生試験（口述）
- 18日…防衛医科大学校看護学科学学生1次試験
- 19日…一般曹候補生2次試験（口述）
 自衛官候補生試験（口述）
- 25日…防衛医科大学校医学科学学生1次試験
- 26日…一般曹候補生2次試験（口述）
 自衛官候補生試験（口述）

11月

- 1日…防衛大学校学生1次試験
- 2日…足柄SA自衛隊フェア（小山町）
 バイクの集いin浜北（浜松市）
- 7日…清水みなと音楽祭（静岡市）
- 8日…足柄SA自衛隊フェア（小山町）
- 14～18日…予備自衛官5日間訓練（板妻）
- 15～16日…タミヤフェア（静岡市）
- 16日…予備自衛官1日間訓練
 予備自衛官地本行事
 （板妻）
- 25日…自衛官候補生試験（WEB）
- 29日…自衛官候補生試験（口述）

12月

- 2日…一般曹候補生1次試験
- 4日…静岡地本感謝状贈呈式
- 7日…しおさいコンサート
 （磐田市）
- 12～16日…予備自衛官5日間訓練
 （板妻）
- 14日…予備自衛官1日間訓練
 予備自衛官地本行事
 （板妻）
 田子の浦ポートフェスタ
 （富士市）